

ブナ林の再生に向けて 衰退原因の解明と再生技術の開発



再生を目指すうっそうとした
ブナ林の例（菰釣山）

自然環境保全センターでは丹沢山地のブナ林衰退の原因解明とともに、ブナハバチ対策や森林再生技術の開発に取り組んでいます。報告会ではこれらの研究成果について報告します。

プログラム(予定)

「ブナ林衰退の原因解明に向けて」

(自然環境保全センター)

「ブナの水ストレス診断」

(京都府立大学 上田正文 准教授)

「衰退リスクから見たブナ林の再生優先地マップの作成」

(酪農学園大学 鈴木透 准教授)

「ブナ林再生のための技術開発」

(自然環境保全センター)

「自然再生事業の実施状況」

(自然環境保全センター)

「学識者によるコメント」

(生命の星・地球博物館)

勝山輝男 学芸部長

日時 平成28年2月20日(土)13:30~16:00

会場 厚木商工会議所501号大会議室
(厚木市栄町1-16-15) ※地図参照

定員 160名(要事前申込)

参加費 無料

主催 自然環境保全センター



○申込方法：受付は平成28年1月4日(月)から開始し、定員に達し次第終了します。

・FAXによるお申込み：行事名「研究報告会」・所属(団体名)・氏名・電話番号を明記の上、FAX(046-247-7545)までお申込みください。

・ホームページによるお申込み：自然環境保全センターホームページ(<http://www.pref.kanagawa.jp/div/1644>)の下段にある「自然環境保全センターへの問い合わせフォーム」に氏名・メールアドレスを入力していただき、お問い合わせ内容の欄に行事名「研究報告会」・所属(団体名)を入力してお申込みください。

※受付完了の返信はしませんので予めご了承ください。

○問合せ先：自然環境保全センター研究連携課 電話046-248-0321(研究連携課代表)